

1

今の放送で聞き取ったことをもとに、次の(1)～(3)の問題に答えましょう。

(1) この話し合いは、何を決めるためのものでしたか。次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。
①

- 1 六年生を送る会で、どんなことをするか。
- 2 六年生を送る会で、どんなゲームをするか。
- 3 六年生を送る会で、どんなげきをするか。
- 4 六年生を送る会で、どんなクイズを出すか。

(2) 「六年生に小学校での生活をふり返ってもらいたい」という考え方から、案を発表していたのはだれですか。次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

- 1 小林さんだけ
- 2 山田さんだけ
- 3 小林さんと高橋さん
- 4 山田さんと高橋さん

(3) 次の文のうち、山田さんの話し方のくふうとしてあてはまることはどれですか。1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。
①

- 1 同じことをくり返し言って、自分の案の良さを強調している。
- 2 前の人の案に対する考えを話したあとで、自分の案を発表している。
- 3 自分の案を最初に発表して、次にその理由を説明している。
- 4 案をいろいろ出してから、いちばん良いと思う案を最後に決めている。

2

次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

(1) 次の文の——線の漢字の読み方を、ひらがなで書きましょう。

4
5
6

① この道具はとても便利だ。

② 鏡の前に立つ。

③ 国を治める。

(2) 次の文の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。③は、送りがなも書きましょう。

7
8
9

① 実験のけっかを予想する。

② アサガオのたねをまく。

③ つめたいジュースを飲む。

3

次の(1)～(9)の問題に答えましょう。

(1) 次の——線の言葉を、国語辞典で調べようと思います。この言葉はどんな形で国語辞典にのっていますか。あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

⑩

おばあちゃんから、プレゼントがとどいた。

- 1 とどい
- 2 とどく
- 3 とどいた
- 4 とどける

(2)

「柱」という漢字を、漢字辞典で引く方法を、次のように説明しました。
は、部首名を書きましよう。イには、数を書きましよう。アに

⑪

部首さくいで引くときは、部首である「ア」をさがす。総画数で調べるときは、イ画のところをさがす。

(3)

次の文の□に入る漢字はどれですか。あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

⑫

弟が大きな声であいさつをしたので、□心した。

- 1 完
- 2 官
- 3 感
- 4 関

(4) 次の文のうち、——線の言葉の使い方が正しいものはどれですか。1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。⑩

- 1 わたしの大事な本をやぶられて、ほっとした。
- 2 急に後ろから声をかけられて、ほっとした。
- 3 楽しみにしていた旅行が中止になって、ほっとした。
- 4 乗る予定だったバスに間に合って、ほっとした。

(5) 次の——線の言葉を、似た意味の他の言葉に言いかえると、どんな言葉になりますか。□に入る漢字一字を書きましよう。⑪

この二つの石の重さは等しい。



この二つの石の重さは□じだ。

(6) 次の□の言葉をならべかえて、意味の通じる一文を作り、できあがった文を書きましよう。⑫

人が

休んでいる

父です。

日かげで

(7) 次の——線の言葉は、どの言葉をくわしくしていますか。あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。⑬

となりの家に、黒い大きな犬がいる。

- 1 家
- 2 大きな
- 3 犬
- 4 いる

(8) 次のローマ字の言葉を、ひらがなに直して書きましょう。

⑦

kippu

(9) 「すみれ」という言葉を、ローマ字で書きましょう。

⑧

6 ページはありません

4

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問題に答えましょう。

著作権法によりホームページに掲載を掲載することができません。

必要な方は、義務教育課あてご連絡ください。

(河野礼子「ぼくらのじくざぐドリブル」より)

(1) この文章を、「出来事が起こっている場所」によって、前半と後半の二つの場面に分けるとすると、どこで分けられますか。後半の初めの五字を書きましよう。^①

(2) みんなの中に、きんちようが走ったとありますが、これは、みんなのどのような様子を表していますか。次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。^②

- 1 コーチから注意されると思い、こわがっている様子。
- 2 対戦相手が決まって、気持ちを引きしめている様子。
- 3 レギュラーに選ばれるかどうか、どきどきしている様子。
- 4 試合に勝つ自信があまりなくて、不安に思っている様子。

(3) ぼくは土手の道を一人で歩いていたらありますが、このときの「ぼく」の様子や気持ちに合うものを、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。^③

- 1 努力してもレギュラーになれなかったくやしきで、頭がいっぱいになっている。
- 2 自分がレギュラーに選ばれないのはおかしいと思い、はらを立てている。
- 3 マモルたちが選ばれ、自分が選ばれないのは当然だと、落ち着いて考えている。
- 4 マモルやコウスケの方がうまいことに気がついて、おどろいている。

(4) 下を流れる川が、ぼやけて見えますが、それは、なぜですか。次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。^④

- 1 川が、「ぼく」よりはるか下に、小さく見えているから。
- 2 夕方になり、「ぼく」の周りが暗くなっているから。
- 3 練習でつかれ、「ぼく」がぼんやりしているから。
- 4 「ぼく」の目に、なみだがたまっているから。

(5) 次の会話は、文章中のある場面の表現ひょうげんについて、二人の小学生が話し合っているものです。□に入る言葉として正しいものを、あとの1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。^⑤

「ほかの人の名前が次々によばれていくのに、自分の名前はよばれない。『ぼく』のだんだんあせってくる様子がよくわかるよね。」

「そのときの、□様子も、『ぼく』をあせらせているんだと思うよ。」

- 1 コーチがメモを取り出す
- 2 マモルとコウスケが喜び合う
- 3 コーチが練習を続けるようにと言う
- 4 マモルとコウスケが「ぼく」の両わきに来る

5

(1) 次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問題に答えましょう。
(2) (7)は段落の番号を表します。

著作権法によりホームページに問題を掲載することができません。

必要な方は、義務教育課までご連絡ください。

(千葉喜彦「蚊も時計を持っている」より)

(1) ネズミで調べたこととありますが、この文章には、二つの実験のことが書かれています。二つ目の実験の内容が書かれているのは、どの段落からですか。段落の番号を書きましょう。^①

(2) その一つとは、何の一つですか。次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。^②

- 1 生物の時計
- 2 ネズミ
- 3 活動箱
- 4 しかけ

(3) 午後六時に暗くして午前六時に明るくしてやりましたが、この場合、ネズミはどうなりましたか。「ネズミは」という書きだしに続けて、十五字以内で書きましょう。「。」や「、」も字数にふくみます。^③

(4) 文章中の「ア」に入る言葉として正しいものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。^④

- 1 また
- 2 そこで
- 3 しかし
- 4 なぜなら

(5) 「生物の時計」について、この文章からわかることを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。^⑤

- 1 ネズミは、周りの明るさに関係なく、一定の間かくで、昼と夜の活動をくり返すようになっている。
- 2 ネズミは、周りの明るさに関係なく昼と夜の活動をするが、活動をくり返す間かくは一定ではない。
- 3 ネズミは、周りが明るくなると目が覚めるように、周りが暗くなるとねむくなるようになっている。
- 4 ネズミは、周りが明るくなるとねむくなるように、周りが暗くなると目が覚めるようになっている。

6

クラスの係や、学校の委員会の仕事について、児童会の新聞でしようかいすることになりました。次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

(1) あなたは、どんな係、または委員などをしていきますか(以前にしたことのある係や委員などでもかまいません)。係、または委員会などの名前を、解答用紙の [] に一つ書きましょう。

(2) [] に書いた係や委員会についてしようかいする文章を書きましょう。そのとき、次の点に注意しましょう。

⑩

〈注意する点〉

① ・七行以上、九行以内(一二一字以上、一八〇字以内)で書きましょう。
・二つの段落に分けて書きましょう。

② ・一つ目の段落には、その係や委員会の仕事がどのようなものか、相手にわかるように書きましょう。
・二つ目の段落には、その係や委員会の仕事に対する感想(楽しいと思うこと、大変だと思うことなど)を、相手にわかるように書きましょう。

小学校 第五学年 国語

聞き取り問題の内容ないよう

ある小学校の五年生による話し合いのようすです。

司会 「これから、話し合いを始めます。今日は、二月に開かれる『六年生を送る会』について、どんなことをするかを決めたいと思います。考えがある人は、手をあげてください。はい、小林さん、どうぞ。」

小林 「はい。六年生といっしょに、ゲームを楽しむというのはどうでしょうか。」

司会 「ゲームですか。具体的には、どんなゲームですか。」

小林 「具体的には、これから考えたいと思いますが……、全員でいっしょに楽しめるゲームがいいと思います。六年生にとって残り少ない小学校での行事を、楽しんでもらいたいと思います。」

司会 「わかりました。小林さんの提案への意見や、ほかの案はありませんか。はい、山田さん、どうぞ。」

山田 「はい、わたしは、学校での生活や行事を題材にして、劇をすること
を提案します。なぜかという点、卒業する前に、小学校での生活を
ふり返ってもらいたいと思うからです。ゲームもいいと思いますが、
もう少し、『送る会』にふさわしいものがいいと思います。」

司会 「学校生活や行事を劇にする、ということですね。ほかに……、はい、
高橋さん、どうぞ。」

高橋 「山田さんの意見を聞いて思いついたのですが、小学校生活の思い出
を問題にして、クイズ大会をするのはどうでしょうか。それなら、
山田さんの言うように、小学校での生活をふり返ることになると思
います。」

司会 「なるほど、思い出を問題にしたクイズですね。これで、三つの案が
出ました。ほかにはありませんか。」